

コバルトレスのエンジン・バルブシート量産開始

(人権・環境に配慮した新材料で低コスト実現)

株式会社ファインセンター（代表取締役社長執行役員：井上洋一／愛知県春日井市）は、人権・環境リスクのあるコバルトを一切使わない材料によるバルブシートの量産を開始しました。トヨタ自動車のプリウス等のエンジンに搭載されます。

エンジン内で吸排気を行うバルブと接する「バルブシート」には高温の環境下での高い耐摩耗性が求められ、各社コバルトを使用しております。

ガソリンの無鉛化に伴うトヨタ自動車の「バルブシート」開発段階から関わった当社は、これまで、その技術を活かし、性能を維持しながら、コバルト添加量の少ない材料を開発・提供してきましたが、更に全く使用しない材料の開発・提案に他社に先駆けて成功し、顧客と改良を重ねたうえで、量産化の準備を進め、耐摩耗性（固さ）と被削性を損なうことなく、大幅なコスト削減を実現しました。なお、本案件については、トヨタ自動車との共同開発により、共同特許を出願しております。

コバルトを使わないことにより、人権・環境面への貢献だけでなく、大幅な低コスト化も実現しました。今後、更にグローバルに展開し、2025年には当社が生産するバルブシートの60%からコバルトを無くせるよう、取組みを継続してまいります。

なお、当社はESG経営に取り組んでおり、児童労働を含む人権リスク、環境リスクが懸念されているコバルト採掘などにおいて、サプライチェーンおよび製錬業者を特定し、素性確認の実施・継続をしております。

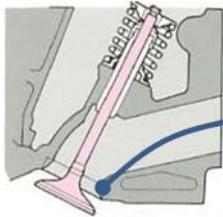
本件のお問い合わせ先

株式会社ファインセンター 経営管理部 内田、山内 (0568-88-4355)

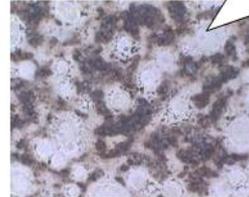
※平日9:00~17:00

コバルトレス バルブシートの開発

■ バルブシート材におけるコバルトの役割



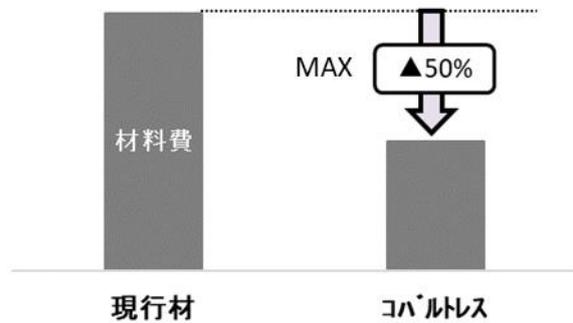
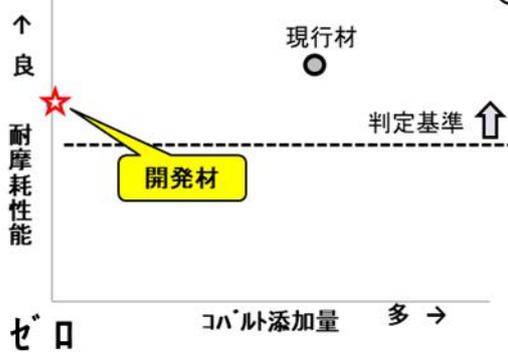
バルブシート



硬質粒子として添加し
耐摩耗性を向上

■ 開発材と現行材の比較

コバルトを使わずに耐摩耗性能維持を実現



コバルトレス化 ➡ 社会課題貢献 + コスト競争力向上

『コバルトレス』バルブシートのグローバル展開

FINE SINTER

『責任ある鉱物調達』 人権侵害と環境破壊のない資源への転換と展開



- ・ 2021年12月 : 国内展開開始、2023年半ば頃までに国内主力品種への展開完了
- ・ 2023~25年 : グローバル展開開始、バルブシート全量の60%以上がコバルトレス材へ転換。

ご参考 「中期経営計画 2025」より抜粋（当社ホームページ掲載）

